



# EAnetwork

新緑の季節となりました。貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

アースアプレイザルグループの不動産環境リスク評価・マネジメントにかかわるニューズレターEAnetwork 発行することになりました。EAnetwork は、土壤汚染対策の実践とそのリスク管理に関する動向・お客様から多く寄せられるご質問への回答などの情報を月に1～2度配信していく予定です。

## Environment column - リコール制度と土壤汚染 -

三菱自動車が設計ミスを隠蔽したことが大きな問題になっています。自動車は所詮人間が設計したものであり、絶対安全なものではありません。絶対なものではないということはどこかにミスがあるということです。だからこそそのミスを認め改善することで、取返しのつかないミスになることを防いでいます。それがリコール制度です。つまりミスを認めて公表することが原則であり、ミスを隠したのではリコール制度そのものが成り立たないのです。ミスそのものは犯罪ではないですが、ミスを隠すことは犯罪です。そのことが三菱自動車の今回の事件で社会に広く認知されたと思います。

生産活動によって有害物質などが使われている工場などでは、十分な管理がなされていたとしても不適切な取扱いによる有害物質の漏洩などは避けられません。つまり、有害物質を扱う場所では土壤汚染が発生する可能性は否定できないのです。土壤汚染が発生したことはミスですが、ミスは避けられないものなのです。重要なことは土壤汚染実態や原因を明らかにして、ミス再発の防止、土壤汚染による影響をどう低減するかという点です。土壤汚染を隠したのでは同じミスを繰り返すことになります。そこには何の進歩もありません。土壤汚染は管理すべき対象ですが、土壤汚染を隠すことは犯罪です。早急に管理すべき土壤汚染の実態を把握する制度が必要なのです。

今月の担当：アースアプレイザル 取締役 西田 道夫 技術士（応用理学・建設）

## 土壤汚染簡易判定 Phase0.8 ¥105,000-(税込み)

昨年末から、特に競売案件用に Phase0.8 調査のサービスを開始いたしました。従来の Phase0.3 の内容にプラスし各年住宅地図、水濁法等届出施設等の官公庁資料調査・聞取り調査とサイト内立入調査から対象地における土地利用履歴、建物・施設配置履歴を調べ、土壤地下水汚染の可能性を判定いたします。立入調査により絞り込まれた悲観的なシナリオで対策案を想定し、減価額を概算いたします。

通常30万円ほどする Phase1 調査の骨格部分だけで構成されたコストパフォーマンスの高いサービスです。サービス開始以来、多くの不動産鑑定士の皆様にご利用いただいております。この件につきましてのお問合せは、TEL03-5298-2151 担当：境谷までお願いいたします。

## 待ったなし! 土壌汚染対策の実践とそのリスク管理 不動産経済実務セミナー大阪にて開催

日時 2004年5月17日(月) 午後1時~午後4時55分 受講料 無料 (先着600名)

会場 大阪国際会議場3階 イベントホールA・B(大阪市北区中之島5丁目3番51号)

主催 (株)不動産経済研究所

講演 国土交通省・大阪商工会議所・(社)関西経済連合会・(社)大阪ビルディング協会・  
(社)大阪土地協会・(社)不動産協会・(社)日本住宅建設産業

講演プログラム

土壌汚染の賠償責任と法的課題-和歌山大学 システム工学部教授 平田 健正氏

汚染可能性不動産の見分け方と資産評価-アースアプレイザル 取締役 山縣 滋 ほか

この件についてのお問合せは、TEL03-5298-2151 担当：大塚までお願いいたします。

土壌汚染に関するご質問 & 今回の EANetwork の感想など、お気軽に [info@earth-app.co.jp](mailto:info@earth-app.co.jp) に、または Fax でご連絡ください。

FAX 03-3252-5411

会社名

お客様名

この EANetwork は、過去に弊社セミナーにご参加いただいた方及び弊社へ調査のご依頼を頂いたお客様にお送りしております。以後、配信を希望されない方はお手数ですが、下記にチェックの上 FAX にてご返送ください。またメーリングリストでの配信希望の方も同様にご返送ください。

次回の配信を希望しない

次回の配信から、メーリングリストでの配信希望 e-mail:

編集者：藤井史枝 TEL: 03-5298-2151

アースアプレイザルグループおよび業務提携先

札幌アースアプレイザル(北海道)、アースアプレイザル N・E(神奈川)、中央開発・基礎地盤コンサルタンツ・  
ジオテック・りんかい日産建設・協和地下開発(関東)、アイエーシー(神奈川)、細野建設(長野)、トーエネック・  
フルエング・東邦地水(中部)、建設基礎調査設計事務所(静岡)、阪神測建(関西)、三協エンジニア(奈良)、  
エイトコンサルタント(岡山)、復建調査設計(広島)、藤井基礎設計事務所(島根)、日本地研(福岡)